

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月24日更新

事務事業名	地域子育て支援拠点事業					<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	三苫 幸喜
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	子育て支援課	担当者名	原田 奈利
	施策の柱	17	地域における子育て支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2314
予算科目	会計一般	款3	項2	目4	事業連番10584	根拠法令	合志市地域子育て支援拠点事業実施要綱		成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児(0~3歳)を持つ親子が交流できる集いの場を提供(合志市社協、NPO法人等へ事業委託) ・少子化、核家族化が進行するなかで、乳幼児を持つ親子が気軽につどい、なごやかな雰囲気の中で語り合い、交流を図り、育児相談などを身近な場所に提供し、子育て親の負担軽減、子育て支援を行う。 ・つどいの広場事業は、現在NPO法人ほっほの部屋が、「ほっほの部屋」を平成18年にみどり館からヴィーブル内福祉会館へ移動して実施されているが、平成28年熊本地震によりヴィーブルが被災したため、仮設として南群コミュニティセンターで実施している。また、合志市社協が、「わかば」を平成18年に須屋スポーツセンターから旧わかば保育園跡へ移動、平成24年度からは社協が新設したこのみ坂保育園にて実施している。また、平成22年度より小規模型の廃止により合志中部保育園が保育園内でひろは型へ移行して「ひかりの子」を実施しており、現在3箇所で開催されている状況である。 近年ではさらに気軽に行けるつどいの広場事業への親子の利用者が増加してきている状況である。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤委託料請求書受付、審査 ⑥委託料の支払
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
つどいの広場事業および地域子育て支援センター事業を委託により実施した。	地域子育て支援拠点事業(つどいの広場、子育て支援センター)を委託により実施する。
委託先: 合志市社会福祉協議会、合志中部保育園、このみ坂保育園、ほっほの部屋	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ つどいの広場および地域子育て支援センターの実施数	箇所: 職員配置増及び熊本地震による実施場所変更に係る委託料の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
乳幼児(0~3歳)をもつ親子。	(単位) 人
	→ 乳幼児(0~3歳)の児童数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
安心して子育て・子育てができる。	(単位) 人
	→ つどいの広場および地域子育て支援センター利用者数
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠	
利用希望にどれだけ対応できているかを指標とするため、利用者数として設定した。また、平成22年度以降については、前年度並みで設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	箇所	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	人	2,138	2,140	2,198	2,905	2,900	3,000	3,100	3,200	
② 対象指標	人	15,412	21,672	20,000	20,784	20,000	20,000	20,000	20,000	
	人									
③ 成果指標	人									
	人									
投資入費量	国庫支出金	千円		7,326	6,992	6,992	7,276	7,276	7,276	7,276
	都道府県支出金	千円	10,475	4,965	6,992	6,992	7,277	7,277	7,277	7,277
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	10,475	8,687	7,156	7,150	7,641	7,641	7,641	7,641
	(A) 事業費計	千円	20,950	20,978	21,140	21,134	22,194	22,194	22,194	22,194
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
正規職員従事人数	人	1	1	3	2	3	3	0	0	
延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50	0	0	
(B) 人件費計	千円	199	185	199	0	199	199	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	21,149	21,163	21,339	21,134	22,393	22,393	22,194	22,194	

事務事業名	地域子育て支援拠点事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 つどいの広場を利用したい親子は全て利用できているため目標は達成できた。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 つどいの広場を利用したい親子は全て利用できると考えられるため目標は達成見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 つどいの広場の未体験者への啓発、利用のきっかけづくりを行い利用者増を図るなど向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 つどいの広場を利用する親子が増加しており、さらなる充実を図るため事業費の削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最少人員で実施しているため削減余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国の推進する事業であり、広く対象者に周知もしているため公平、公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国が推進する事業であるため、役割分担は定期性である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

つどいの広場は自由参加であるため、実績からみてもいい内容での活動が来ている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策